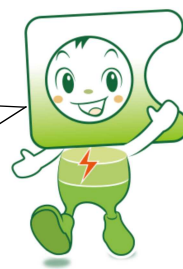


平成27年度鹿児島県総合教育センター長期研修者研究発表会

平成28年2月25日（木）に鹿児島県総合教育センターにおいて、長期研修者研究発表会を開催します。多くの方々の参加をお待ちしております。



★ 小学校教諭（5人）

白尾 麻衣 | 鹿児島市立本名小学校（情報教育）

児童のICT活用による情報活用の実践力の育成 －自ら考え、発信できる力を育む学習指導の工夫を通して－

「情報活用能力」の育成の中でも、児童によるICT活用を通じた「情報活用の実践力」の育成に関わる一連の学習指導について研究してきました。タブレット端末と授業支援アプリを用いた授業実践を通して、「ICTを使ってまとめたい、表現したい。」という意欲を高め、自ら考え、発信できる力を育む手立てについて発表します。

井上 博和 | 日置市立伊集院小学校（理科）

根拠を明確にして推論できる児童を育成する理科学習指導の在り方 －互いの考えを生かし、高め合う活動を重視した授業を通して－

根拠を明確にして推論できる児童を育成するためには、「考えの可視化の促進」、「交流の活性化」、「根拠を引き出す発問」が重要であると考え、研究を進めてきました。図やモデルを用いて思考・表現したり、考えの共通点や相違点に着目して交流したりすることを通して、互いの考えを生かし、高め合う理科学習指導の工夫について発表します。

永田 大輔 | 長島町立鷹巣小学校（キャリア教育）

飽くなき向上心を抱く児童の育成を目指したキャリア教育の創造 －第6学年における各教科等を有機的に関連付けた授業実践を通して－

飽くなき向上心を抱く児童の育成を目指し、キャリア教育の視点に基づいた各教科等の指導の在り方について研究してきました。道徳の時間や学級活動の中核として、各教科等を有機的に関連付けた指導や地域の人材の活用等の工夫により、児童の将来の夢に対する意欲を高める実践について発表します。

香川 由美子 | 伊佐市立大口東小学校（外国語活動）

自ら英語でコミュニケーションを図ろうとする児童の育成 －小学校英語科の導入を見据えた、基本的な表現の定着に焦点を当てた学習指導の工夫－

自ら英語でコミュニケーションを図ろうとする児童を育成するには、基本的な表現の定着に焦点を当てた学習指導を行うことが有効な手立ての一つになると考え、研究してきました。小学校英語科の導入を見据え、第二言語習得の過程を踏まえて作成した単元の指導モデルと、それを基に行った実践について発表します。

坂下 泰洋 | 湧水町立吉松小学校（道徳）

児童が他者とのよりよい関わりの中で自己への問い掛けを深める道徳の時間の在り方
－「相互理解、寛容」の指導を通して－

道徳の時間において、道徳的価値の自覚を深めるためには、自己への問い掛けを深めることが大切だと考え、研究を進めてきました。道徳的価値について、「考える視点」を設定し、それに基づく対話によって考えを共有することで、自己への問い掛けを深める道徳の時間の在り方を、内容項目「相互理解、寛容」の指導を通して発表します。

★ 中学校教諭（３人）

池田 貴裕 | 薩摩川内市立川内北中学校（国語）

進んで自分の考えを伝え合う力を高める国語科学習指導の在り方
－思考の活性化を導くアクティブな交流を通して－

国語科の学習指導において、進んで自分の考えを伝え合う力を高めるためには、「確かな自分の考え」を形成することが大切だと考え、研究してきました。「確かな自分の考え」を形成するために、思考をつなぎ（比較・検討・評価し）ながら、自分の考えを深めたり、広げたりする主体的・協働的・創造的な交流の在り方について発表します。

日高 佳子 | 志布志市立松山中学校（国語）

生徒の主体的な学びを引き出す国語科学習指導の在り方
－社会科や理科との連携を図った説明的文章における単元構想と言語活動の工夫－

実生活で生きて働く言語能力を育成するためには、生徒に他教科等の言語活動で、発揮されるべき国語科の学習成果を実感させることが大切だと考え、研究してきました。今回は、「読むこと」の説明的文章に焦点を絞り、社会科や理科との連携を図った単元構想や言語活動設定の工夫を行い、どのような授業を展開したかを発表します。

前平 勝 | 瀬戸内町立古仁屋中学校（数学）

数学において「活用する力」を育成するための学習指導の在り方
－授業展開の工夫を通して－

中学校数学科において「活用する力」を育成するためには、授業展開の工夫が重要であると考え、研究してきました。１単位時間の中で「学習課題の設定」、「学習課題の組立て」、「記述・説明する場」の工夫を行うことによって「活用する力」を育成することができるのではないかという仮説の下、「数と式」、「図形」の二つの領域の実践を通して発表します。



研究計画発表会（４月）



研究中間発表会（９月）



昨年度の研究発表会

★ 高等学校教諭（１人）

上田 美和 | 鹿児島県立開陽高等学校（国語）

漢文を読む能力を養い、関心を深めることができる学習指導の在り方
ー漢文における広がりのある学習指導を通してー

漢文を読む能力を養い、関心を深めることができる、広がりのある学習指導の在り方について研究してきました。生徒が教材を多方面から考察することによって、漢文に対する興味・関心がどのように深まり、主体性や思考力・判断力・表現力がどのように向上したのかについて発表します。

★ 特別支援学校教諭（１人）

染川 加奈子 | 鹿児島県立鹿児島高等特別支援学校（特別支援教育、高・英語）

知的障害のある生徒のコミュニケーション能力を育む外国語科の指導
ー高等特別支援学校版CAN-DOリストの開発、活用を通してー

知的障害のある生徒のコミュニケーション能力を育むための外国語科の指導の在り方を研究してきました。生徒の実態に即した『高等特別支援学校版CAN-DOリスト』の開発、活用を通して、生徒のコミュニケーション能力を高める授業づくりの工夫について発表します。



＜平成27年度鹿児島県総合教育センター長期研修者＞

新しい自分発見教育センターで...

～学びの一步，還元の二歩～

